

瀬本永野式夜間装具を用いた特発性側弯症の治療

一般財団法人近江愛隣園今津病院 小児・側弯センター ○瀬本 喜啓
大阪医科大学 整形外科教室 藤原憲太
有限会社 永野義肢 永野 徹、金崎秀徳、宮部昌洋、永野宏佳

【目的】

今回我々は、瀬本永野式夜間装具 (SNNB) により治療を行った特発性側弯症について、装具脱後 1 年以上経過し、彎曲の改善が得られた 4 例を報告する。

【対象】

- 1) 治療開始時年齢.....11 歳 8 か月～14 歳 9 か月 (平均 13 歳 7 か月)
- 2) 平均 Cobb 角.....23 度～39 度 (平均 28.8 度)
- 3) Risser sign.....全員 3 未満

【結果】

- 1) 調査時平均年齢.....15 歳 1 か月～17 歳 11 か月 (平均 16 歳 7 か月)
- 2) Risser sign.....すべて 5
- 3) 装具脱後期間.....12 か月から 24 か月 (平均 15.5 か月)

【結果】

- 4) 調査時彎曲改善度.....6 度～14 度 (平均 9.8 度)
- 5) 装具装着時間.....約 7 時間

【考察】

夜間装具では治療効果が得られないのか？

米国整形外科学会の Research Committee が 1941 年に出した遠隔治療成績では、装具をはずすと完全な loss of correction となったと報告されている。また一般に full-time 装具に比べて夜間装具は装着時間が短く、彎曲の進行予防効果は劣ると考えられている。

今回 SNNB で治療を終了した 4 例は、装具脱後 1 年の時点で loss of correction を起こすことなく、彎曲の改善状態を維持した。

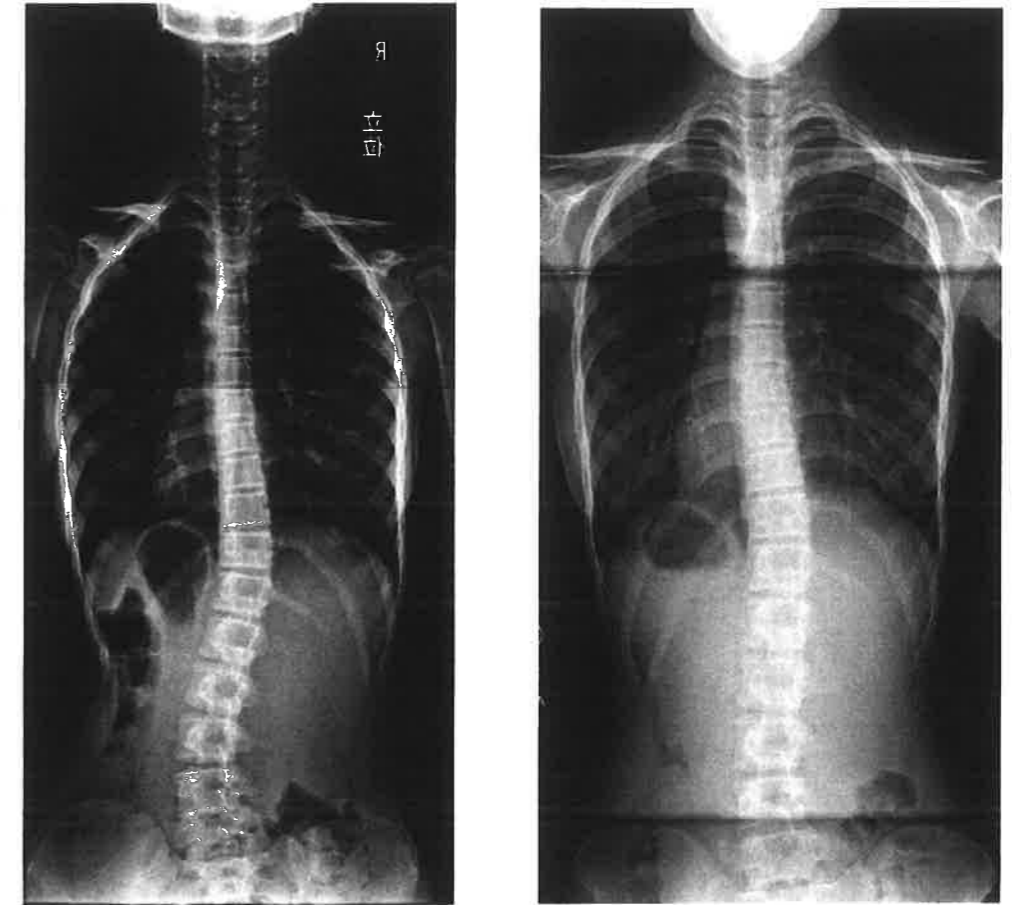
これは他の夜間装具が側方への過度の屈曲により彎曲を矯正する装具であるのに対し、SNNB は Risser-Cotrel cast の原理を応用し、回旋変形の矯正を重点的に行っているためではないかと考えている。さらに、重力の影響が少ない臥位での矯正は、比較的強い矯正力をかけても痛みを伴うことが少なく、時には過矯正が得られることも少なくない。

現在まで 250 例の SNNB を作成し、手術までの待機用、full-time 装具の drop out 例に対する救済用装具、full time 装具との併用などさまざまな目的で使用してきた。

今後、学校への装着という患者の精神的苦痛を伴わないことにより、彎曲の軽度な患者に

も対象を広げ、症例を重ねたいと考えている。

【結語】瀬本永野式夜間装具を用いた治療により、彎曲を改善することができた症例を示した。



症例

装具前		装具脱後 12 か月
12 歳 1 か月		16 歳 10 か月
T9-L1	19 度	15 度
L1-L5	23 度	17 度

【参考文献】

- 1) 瀬本 喜啓：装具療法，側弯症治療の最前線，日本側弯症学会編，136-146、2013
- 2) 瀬本 喜啓：アンダーアーム型装具・OMC型、BOSTON型等、Journal of Clinical Rehabilitation、24 卷 10 号、958-963、2015
- 3) PRICE CT et al：Nighttime bracing for adolescent idiopathic scoliosis with the Charleston bending brace:preliminary report, Spine 15' 1294 - 1299' 1990